

雲の上のまち



広報

けさは

8月号

2026
〈令和8年〉

No.818

栲原学園5年生体験合宿

認知症について研修会を開催 みんなで話そう認知症のこと〜共生を目指して〜

6月27日、ゆすはら夢・未来館において、地域住民の皆さんを対象とした認知症に関する研修会「みんなで話そう認知症のこと〜共生を目指して〜」を開催しました。この研修会は、認知症への理解を深め、「共に生きていくためにできること」を参加者と一緒に考えることを目的に、げらげら家族会（梶原町認知症家族介護者の会）と梶原病院が主体となり、企画しました。当日は161名（町内132名、町外29名）の方にご参加いただき、大変有意義な時間となりました。



研修会は、梶原町の認知症ケアパス（いつ、どこで、どのような医療やサービスなどを受けることができるかを認知症の進行に合わせてまとめたもの）を参考に、「ひよっとして認知症？」という気づきの頃から、症状が進行した時期までの一連の流れに沿って、6名のパネラーがそれぞれの視点から話をしました。

初めに、本淨裕基医師（梶原病院院長）から、認知症の初期症状や梶原病院で受けられる検査などについて説明がありました。梶原病院の外来では、認知症に関する検査をいつでも行っているため、物忘れなど心配なことがあれば、主治医に気軽に相談してほしいと、心強いメッセージがありました。

吉良道好さん（津野町／ケアメンいごっそう他）と高橋眞由美さん（梶原町／げらげら家族会）は、認知症になった家族の介護を通じて経験したことをお話ししました。お二人とも、家庭内で起きていることについて、日頃から関わりのある近所の人や同じ境遇にある家族会のメンバーなどに話したことで、理解者が増え、症状への対応方法や介護の考え方に幅ができ、介護に向かう心が軽くなったそうです。

また、吉良さんはご自身の「介護者としての信条」について、「皆さんに

これが正解と言いたい訳ではありませんが、『世話すりやそれでいい』という気持ちでは、介護はただの『作業』になってしまふ。時には介護する人の口調が強くなってしまうこともあるかもしれないが、心の中には介護される人への愛を持って介護をしていきたい、そういう思いをもって私は妻の介護をしました」（「介護を通じてどう感じるかは介護者の性格やおかれた状況によるが）私は、『この人（妻）をここまで介護して、幸せじゃったねえ』と今でも思うことはあります」と力強く話されました。



続けて、認知症本人や家族、高齢者等の居場所づくりを目的にYURUR Iゆすはらの町民交流室で月に2回実施している「ゆるりの部屋」について、スタッフの武正眞智子さんより活動報

告がありました。参加者の笑顔あふれる写真の紹介もあり、認知症になったとしても、自分らしく住み慣れた地域で生きていくためには、周囲が本人の「できること」に目を向けて関わり、本人も人との交流を持ちながら過ごしていく、「共生」とはどのようなものかを知れる機会となりました。

研修会の後半では、認知症の症状が進行した時の本人の様子や必要になってくる支援について、本淨院長から話がありました。認知症の症状が進行してくると、専門職の介入が必要な場面も増えてきます。医療や介護保険サービス、家族会等の社会資源を上手に活用することも、在宅での介護を続けていく上で重要です。

地域福祉の推進を担う社会福祉協議会の職員からは、住民の身近な存在である地域福祉コーディネーターの活動や、身近な人たちで見守り、支え合える地域づくりの取り組みについて話がありました。認知症の症状が進行しても、地域の皆さんが認知症の本人や家族を見守る支援者であることは変わりません。同時に、誰もが見守られる側でもあるため、一人ひとりが「見守られ上手（周りの人に自然に見守ってもらえる生活習慣をもてる人）」になることが大切であることを、保健福祉課からはお伝えさせていただきました。

パネラーの発表後には質疑応答の時間があり、会場の参加者からも日頃の疑問や具体的な対応などについて様々な質問が寄せられました。その一部をご紹介します。

質問

認知症になった義母は、若い頃から魚を一切食べない人だった。認知症の発症に食べ物は関連しているか？

〈回答者〉 本淨院長

魚、肉、卵類に多く含まれるビタミンB群が不足すると、認知機能の低下を起こすことがある。それらの不足がお義母さんの症状の一因になっていた可能性はある。認知症に限らず、元気でいるためにはバランスよく食べることが重要。特に、たんぱく質食品（肉・魚・卵・乳・大豆製品）を積極的に摂ることで、筋肉や体力の低下を予防でき、それが認知機能低下に繋がることも明らかになっている。



質問

認知症ではないかと心配した家族が病院受診を勧めても、本人が拒否をす

るケースは多いと思う。良い方法があれば教えてほしい。

〈回答者〉 高橋さん

義母が認知症と診断される前は、私一人が義母を病人扱いしているような状態だった。支援センター（保健福祉課）の保健師から主治医に義母の状況を伝えてもらい、定期受診の日に主治医が上手に誘導してくれて、検査を受けてもらうことができた。

〈回答者〉 吉良さん

診察を嫌がる本人には、介護する人が「私の体調が悪いからついて来てや」と言って一緒に受診をする方法が一番有効だった。また、病気になることもでも気軽に相談できる関係性をはかりつけの先生とつくっておくことも大切。素人が「これは認知症だ」と判断せず、まずはかかりつけ医へ相談を。

質問

認知症になっているご本人に「私は認知症な？」と聞かれた時に、ついごまかしてしまった。本人にとって、どう答えたらよかったのだろうか？／「私が認知症になっているようだったと言ったね」と家族や友人に言っているが、実際には本人にはなかなか言えないのではと思う。どのくらいの状態になった時に言うべきか、そもそも本人に言うべきなのか？

〈回答者〉 本淨院長

それぞれ、ご本人の性格やおかれた状況も違うため、返答に正解はないと思う。しかし、「私は認知症な？」と尋ねてきた本人は、もしかすると何か困っていたり、不安に感じたりして

いたりするのかもしれない。尋ねられた人は、困りごとを解決する方向で話を聴いていきたいのではないかとと思う。その場合は、家族や知人同士だけで抱え込まず、我々専門職の協力も得ながら話していただいたい。



当日は、パネラーの話をもとに、会場にいる皆さんで認知症について話し、理解を深めることができました。

主催者の一人であり、当日の司会を務めた掛橋培子さんからは「梶原町を認知症の人にやさしい町に、共に生きていくことができる町にしていきたい。今日のように、病気のことをみんなで勉強して、この先私たちもどうすればいいのかをみんなで考えることが大切だと思う。認知症になったら何もしできない、ではなく、認知症の人にも

できることはしてもらって、それを周りがどう支えていくかを考えていきたい」と話がありました。

今回の研修会をきっかけに、多くの方が認知症について知ることができたと思います。認知症は誰もがなりうる身近な病気であり、住み慣れた地域で生活していくためには、医療・介護・福祉の専門職だけでなく、地域のあたたかい見守りが必要不可欠です。みんなが認知症について正しく理解すること、互いに見守り合い、「なんか困っちゃあせん？」と気遣い、支え合える関係性を日頃から作っておきましょう。

梶原町では、梶原病院と保健福祉課が認知症に関する相談窓口を担っています。引き続き認知症に関する相談対応や普及啓発に取り組んでいきたいと思しますので、気になることがあればお気軽にご相談ください。

保健福祉課 地域包括支援センター

☎ 65・1170

研修会の様子をまとめた動画が、梶原町の公式YouTubeにアップされています。ぜひご覧ください。



令和8年度 高知県消防操法大会

高知県消防操法大会が、6月28日、いの町の高知県消防学校グラウンドにおいて、台風接近に伴い、規模を縮小し開催されました。

大会は「自動車ポンプの部」と「小型ポンプの部」があり、消防団員の操法技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展に寄与する事を目的として2年に一度開催されます。

県内各地区の予選大会を勝ち抜いたポンプ車操法の部・6消防団、小型ポンプ操法・14消防団が優勝を目指しました。

小型ポンプ操法優勝団は、今年10月に東京都で開催される全国消防操法大会への出場が掛かっており、注目の大会となりました。

梶原消防団は、昨年10月に開催された高陵消防連合演習にて、小型ポンプ操法の部で優勝した第5分団と、自動車ポンプ操法の部で優勝した梶原消防団が出場し、今大会も健闘を誓って出場しました。

第5分団と自動車ポンプ操法の選手は、この大会での優勝を目指し、週3回、仕事を終えた後、練習に励みました。また、県操法大会の会場である高知県消防学校へ足を運び大会に臨みました。

小型ポンプ操法は審査員の「操法開始」合図と共に、指揮者が向きを変え「操作始め」の号令で20mホース3本

を結合し延長し、63m先の標的を倒す競技で、基準タイムは45秒です。標的が倒れた後も、元の位置へ各選手が帰り、指揮者の「別れ」まで、選手の一挙手一投足が審査されており、好タイムが出ても気を抜けません。

第5分団は、大きなミスも無く競技を終えることができました。タイムは「41秒06」で、得点は「93点」と高得点でしたが、優勝候補である土佐町の消防団と同数得点であり、規定の結果、梶原消防団は準優勝となりました。

自動車ポンプ操法は2口の放水が行われ、1口目を第1線、2口目を第2線と言います。1線目は指揮者の「操作始め」の号令でポンプ車から下車し、20mホースを3本結合し、標的を倒すまでとなっており、基準タイムは55秒です。その後2線目は、「第2線延長始め」の号令で20mホースを3本結合し標的を倒すまでとなっており、基準タイムは65秒です。

選手は、訓練の成果を遺憾なく発揮し、1線目タイム53秒24、2線目タイム63秒68、得点169・5点で第3位という結果になりました。

今回、惜しくも優勝には届きませんでしたが、選手の方は日頃の仕事終わりに練習を重ね、またそれらをサポートしてくださいました家族・地域の方々本当にありがとうございました。

今後におきましても梶原消防団員一丸となり、操法技術の向上はもとより、防火防災に尽力して参りますので、さらなるご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

【出場者紹介】

小型ポンプ操法の部（第5分団）

指揮者 団員	川上 政志
1番員 班長	隅田 雄策
2番員 部長	山内 孝信
3番員 班長	宮岡 誠二
補助員 部長	川上 純弥

自動車ポンプ操法の部

指揮者 団員	岩本 翔大
1番員 団員	畠山 貴至
2番員 団員	中越 有基
3番員 団員	島村 香弥
4番員 副分団長	上川 哲志
補助員 団員	村上 崇

【競技結果】

自動車ポンプ操法の部

第3位

小型ポンプ操法の部

準優勝

【優良選手賞】

自動車ポンプ操法の部

1番員 団員	畠山 貴至
2番員 団員	中越 有基

小型ポンプ操法の部

指揮者 団員	川上 政志
--------	-------

高幡消防津野山分署



小型ポンプ操法の部



競技の様子



自動車ポンプ操法の部 競技の様子



令和8年度 栲原消防団連合演習

7月5日、栲原町消防団連合演習を開催しました。高橋町長・市川町議会議長をはじめ町議会議員、小笠原高知県危機管理部消防政策課課長、樋口須崎警察署長、池田高幡消防組合組合長、佐々木高幡消防組合消防長、大西黒潮町町長、町内各区長、消防幹部OB他関係者の方々多数にご出席いただきました。開会式では、栲原学園音楽部17名の吹奏に合わせ、栲原消防団174名が集結しました。

午前中の教練の後、小型ポンプ操法実施中に雷が鳴り始め、大雨となり一日競技を中断しました。

昼食をとりながら天候の回復を待ちましたが、回復せず、団員の安全を第一に考え、中止の判断を行いました。

また、ご出席いただきましたご来賓の皆様におかれましても、雨天のなか長時間にわたり待機いただき、誠にありがとうございました。

今後とも、栲原消防団へのご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

【競技結果】

優勝

教練 第5分団
※教練のみ全分団実施
その他の競技は中止

また、次の方々が表彰伝達および披露されました。

【表彰伝達】

高知県知事表彰
消防団員配偶者功労感謝状

【表彰披露】

栲原町長
消防団員配偶者功労感謝状

中岡 清香 様
佐竹 美佐 様
氏原 陽子 様
(第2分団 佐竹紀章 夫人)
(第4分団 氏原昇佐 夫人)

【表彰披露】(敬称省略)

消防庁長官表彰
永年勤続功労章

第3分団 分団長 西村 信明

日本消防協会会長表彰

第4分団 団員 久岡 健市

勤続章

第1分団 副分団長 西添 岳大
第2分団 団員 中越 修平
第3分団 団員 正岡 洋平
第3分団 団員 明神 孝洋
第4分団 団員 森山 誠
第5分団 団員 立道 勝弘

高知県知事表彰 永年勤続功労章

第5分団 副分団長 西森 誠
第5分団 班長 明神 和章
第1分団 団員 山下 正貴
第2分団 団員 谷川 郷司
第2分団 団員 神明 将興
第2分団 団員 立道 雅也
第2分団 団員 渡辺 隆法
第3分団 団員 市川 剛史
第4分団 団員 市川 亨
第5分団 団員 川上 政志

高知県消防協会会長表彰 勤続章

第2分団 班長 中越 繁浩
第1分団 団員 中越 哲臣
第1分団 団員 前田 誠
第1分団 団員 白石 準一

栲原町長 消防団員退団者感謝状

元第4分団 分団長 松山 榮喜 様
元第4分団 副分団長 田辺 良一 様
高幡消防津野山分署



住みよい美しい町に！ 町内（道路）一斉清掃・河川清掃

町内の環境美化と安心・安全なまちづくりのため、毎年恒例となっている町内（道路）一斉清掃と河川清掃を、6月21日と7月26日に実施しました。

今年も朝早くから多くの町民の皆さまにご参加いただき、道路の草刈りや側溝の清掃、ゴミ拾い、河川の葦の刈り取り作業など、普段はなかなか手が行き届かない場所の環境美化に取り組んでいただきました。この町内（道路）一斉清掃は地域の皆さんのご協力をいただき、昭和46年から長年続いている活動です。

子どもから高齢者まで幅広い世代の皆さまが、ごみ拾いや草引きなどに参加され、地域みんなで協力して作業をする姿が町内各地で見られました。ご協力いただきありがとうございます。

今回の清掃活動を通じて、地域のつながりや地域の自然環境を守ることの大切さについて考える機会になったのではないのでしょうか。

道路や河川の清掃活動を継続し、梶原町の美しい環境を守っていく活動に、来年度もご協力をお願いいたします。

環境整備課生活環境係



町内（道路）一斉清掃の様子

気をつけよう！一人ひとりの意識が大切！ ごみの分別・出し方のマナー

高幡東部清掃組合視察研修

7月16日、梶原町廃棄物減量等員連絡協議会では、中土佐町にある高幡東部清掃組合への視察研修を行いました。

今回の研修では、梶原町から搬出される可燃ごみやし尿等がどのように処理され再資源化されているかを学びました。また、私たちが安心して快適に暮らすために必要な取り組みについて理解を深めることができました。

「ごみの分別ルールを守ることが、より安全で効率的な処理につながる」ということで、その中でも皆さんに気をつけてほしいことをご紹介します。

① 調味料などに含まれる塩分から発生する塩素が機械を腐食させるためしっかりと洗い流して捨てましょう。

② 生ゴミの水切りも徹底しましょう。固形燃料に処理するためごみを乾燥させる工程があります。水分が多いと莫大な燃料を必要とします。

③ 金属類や電池、ライターはパッカー車やごみ処理場設備の故障につながるので可燃ごみに絶対入れないでください。

ゴミを安全に処理するために、一人ひとりが正しい分別、ごみ出しのマナーを守るようにしましょう。

日々の小さなことを、一人ひとりが気をつけることで環境を守る大きな力になります。ごみの分別ルールを守り、みんなで環境に優しい持続可能な町にしていきたいです。

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会

会長 西川 陽子

環境整備課 生活環境係



高幡東部清掃組合施設研修（中土佐）



実際に可燃ごみに混ざっていた物 乾電池・傘・ライターなど

梶原町農業委員の任命及び 農地利用最適化推進委員の委嘱

梶原町農業委員会委員の任期満了に伴い、新たな農業委員が7月20日に町長より任命されました。7月23日に開催された臨時農業委員会では、会長、会長職務代理の選出ほか、農地利用最適化推進委員も任期満了に伴い新たに委嘱されました。

【任期】

◆農業委員

令和8年7月20日から令和11年7月19日

◆農地利用最適化推進委員

令和8年7月23日から令和11年7月19日

農業委員会では、農地の権利移動の許可、農地転用の意見送付、農地の利用状況調査などを実施しております。

農地の売買や貸借、農地を農地以外の用途に転用する場合には、梶原町農業委員会事務局、または農業委員、農地利用最適化推進委員までご相談ください。

梶原町農業委員会事務局

(まちづくり産業推進課内)

☎ 65・1250



農地利用最適化推進委員		
担当区域	氏名	住所
越知面区担当	川上 厚 志	横 貝
四万川区担当	中 平 勝 也	東 川
東 区 担 当	高橋 亀一郎	川 井
西 区 担 当	大 崎 洋 吉	竹の藪
初瀬・松原区担当	久岡 健 市	松 原

梶原町農業委員		
	氏名	住所
会 長	中 平 紀 善	川西路
会長職務代理	上 田 和 弘	川西路
委 員	中 岡 勝 寿	松 谷
委 員	谷 川 恵 美	中の川
委 員	押 川 收 一	六 丁

在宅生活おうえんチケット。 思いやり家庭支援

梶原町では、在宅で介護をされているご家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図り、在宅での生活環境を整えようと、被介護者の在宅生活の継続と福祉の向上を図ることを目的に次の事業を行っています。

【事業内容】

①在宅生活おうえんチケット

月に5日分まで、介護保険法によるショートステイとデイサービス、障害者総合支援法による短期入所、生活介護、日中一時の利用者負担分を助成します。

②思いやり家庭支援金

月額1万円を支給します。
※世帯の前年中の合計所得総額が600万円を超えていない方が対象となります。

【対象者】

梶原町に住所を有し、次のいずれかに該当する方を在宅で介護されている方

●要介護3以上の方

(要介護2の方でも認知症の症状が重い方で対象となる場合があります。)

●障害支援区分4以上の方

【問合せ先】 保健福祉課 介護保険係

☎ 65・1170

国民健康保険の脱退・加入の お手続きはお早めに

突然の病気やけがに備え、日本では国内に住民票のある方は、いずれかの公的医療保険に加入することになっています。これを「国民皆保険制度」といいます。そのため、職場の健康保険や共済組合等に加わっている方、後期高齢者医療の対象の方、生活保護を受けている方以外は必ず国民健康保険に加入することになっています。

国民健康保険に加入していたが、職場の健康保険へ加入した場合や、ご家族の健康保険の扶養となった方、生活保護を受けるようになった方は、国民健康保険を脱退する手続きが必要になります。

職場の健康保険に加入した時も、ご自身で国民健康保険を脱退する届出が必要になります。職場の健康保険に加入したことで自動的に国民健康保険を脱退することにはなりません。

また、退職等で職場の健康保険や共済組合等の資格を喪失した場合も自動で切替にはなりませんので、必ず国民健康保険への加入手続きが必要ですよ。

転入・転出の際も加入・脱退について、忘れずにお手続きください。



【問合せ先】 保健福祉課 医療保険係

☎ 65・1170

令和9年度 里山林活性化による 多面的機能発揮対策交付金の要望調査

地域住民、森林所有者など3名以上で構成される活動組織が取り組む、里山林の整備・活用を支援する交付金の活用を希望する団体の要望調査を行います。

交付内容

- 【森林資源活用】 里山林の整備と森林資源の活用。
- 【竹林資源活用】 竹林整備等と竹林資源の活用。
- 【資機材購入】 資機材の購入・設置に必要な額の1/2（一部1/3）
- 【要望提出期限】 令和8年9月15日（火）必着

提出・問合せ先

（公社）高知県森と緑の会

TEL : 088-855-3905 FAX : 088-855-3906
URL : <https://www.moritomidori.com>

無料調停手続相談会 について

調停は裁判所で行われ、国民の皆様が民事や家事のトラブルで困ったときに、非公開で話し合いによる解決を基本として、手軽に、早く、安く、またプライバシーも守られ、しかも調停が成立すれば裁判による確定判決と同一の効力が生じる制度です。

予約は不要ですので、お困りのことがある方は直接会場へお越しください。

【目的】

民事問題

損害賠償（慰謝料、交通事故等）、金銭貸借、立替金、建物明渡、家賃等

家事問題

離婚、婚姻費用、財産分与、面会交流、養育費、相続（遺産分割）等

【日時】

①9月4日（金）午前9時30分～午後3時30分
（受付は午後3時まで）

②9月25日（金）午後1時～午後4時
（受付は午後3時30分まで）

【場所】

新来島高知重工ホール（高知県民文化ホール）
1階第11多目的室

【問合せ先】

毎週月・水・金の午前9時～午後4時まで（休日を除く）
高知調停協会連合会事務局（高知家庭裁判所内）

☎088-872-7884

無料年金相談会の 開催

高知西年金事務所による無料年金相談会が左記の日程で行われます。年金に関する相談ごとがありましたら是非ご利用ください。

相談を受けられる方は、年金手帳や年金証書、ねんきん定期便などの基礎年金番号が分かるもの、及び運転免許証やマイナンバーカード等の本人確認書類をご持参ください。

また、本人以外の方が来られる場合は、委任状と代理の方の本人確認書類が必要です。

当日の待ち時間短縮のために、事前予約を受け付けております。予約をされる方は総務課住民係へご連絡ください。

【日時】

9月9日（水）

午前10時～正午
午後1時～午後3時

【場所】

梼原町総合庁舎内 1階会議室

【予約及び問合せ】

総務課住民係（☎65-1111）



高知家の燃料確保 大運動!

- 南海トラフ地震が発生すると、揺れや津波による浸水によってガソリンスタンドが被災します。
- 東日本大震災では、営業できたガソリンスタンドで大渋滞が起こり、緊急車両等に影響が出ました。
- 高知県が行った試算では、県外からの応援が始まるまでの3日間は燃料が足りません。
- 県民の皆様が常にガソリン残量を半分以上にすれば、災害への備えとなり、燃料の不足も少なくなります。

燃料が半分になる前に満タンにしましょう!

車に燃料が満れば



★携帯電話を充電できます!

※車のソケットがアダプターで電源となります。

★ラジオやカーナビテレビで
情報収集できます!



★エアコンで
暑さ、寒さをしのげます!



たいさくくん

★ガソリンスタンドでの渋滞を
回避できます!



ヘルパちゃん

★高知県全体の備蓄量が増え
燃料不足を縮小できます!



ドライバーの誰もが
できる対策です!

高知県防災キャラクター
©やなせたかし

! 災害時には緊急車両などへ優先的に給油します。
そのため、一般車両への給油は制限されます。
● ご理解・ご協力をお願いいたします。



栲原こども園だより



夏といえば水遊び

夏ならではの遊びといえば水遊び。

幼児組（3・4・5歳児）は、園の大きなプールで水遊びを楽しんでいます。



プール開きをした頃は15cmくらいの水深でしたが、子ども達も水に慣れていくのに合わせて、少しずつプールの水も増やしていきました。



夏のプール遊びはただ涼むだけではなく、子ども達の成長に大切な役割があります。子ども達は、保育者や友達と一緒に元気に水しぶきをあげながら、全身で水の冷たさ、感触、気持ちよさを感じています。水のきらめき、しぶきの音などの五感への刺激が、豊かな感性や脳の発達を促します。

水の中を走ったり、ワニ歩きをしたりして全身を使って遊ぶので、全身の筋肉をバランスよく鍛えられるとともに、バランス感覚を育むことができます。

また「順番を守る」「プールにとび込まない」「友達を押しついたり、友達の上に乗ったりしない」などの、ルールを守ってお互いに気をつけて遊ぶことや、友達と道具を交代して使ったり、一緒に協力して遊んだり、ルールを学び、社会性を身につけていく大切な機会です。



今年も全職員で救急法の研修を受けました

園では、これからも安全を第一に、子ども達の心と体を育んでいきます。



乳児組も、発達に応じて水に触れて遊んでいます

こども園ホームページ





桤高だより

コルチャック高校との 交流事業

6月18日、昨年度に引き続き、総合的な探究の時間の活動として、ポーランドのコルチャック高校とのオンライン交流を実施しました。

今回交流したのは、日本語を学ぶコルチャック高校1年生5名です。本校の生徒たちは、「やさしい日本語」を使って、自分たちの出身地や桤原町、桤原高校、部活動について紹介しました。

その後の交流では、「好きな日本語は何ですか」「日本は暑いですか」など、互いに質問を合い、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。また、生徒たちは事前にポーランド語のあいさつも練習し、「Dzień dobry! (こんにちは)」や「Miło mi cię poznać. (お会いできて嬉しいです)」が相手に伝わると、笑顔があふれていました。

コルチャック高校の生徒からは、「緊張したけれど楽しかった。夏休み前の良い思い出になった」という感想をいただきました。交流後には、本校の生徒から

「日本の食べ物や津野山神楽についても紹介したかった」という声も聞かれ、早くも次の交流に向けて意欲を見せていました。今回の交流を通して、生徒たちは異文化理解を深めるとともに、言葉を通じて人となることがの楽しさを実感する貴重な機会となりました。

今後も、このような国際交流の機会を大切にしなが、生徒たちの視野を広げる学びにつなげていきたいと思ひます。



選書会

7月8日から10日までの3日間、金高堂書店様のご協力のもと、「選書会」を開催しました。

今年は図書委員が「本との出逢いを今ここで」というキャッチフレーズを考え、手作りのポスターで会場を彩りました。会場には、小説や漫画、話題の本に加え、寮生活を送る生徒が多い本校ならではの、一人暮らしに役立つ本やレシピ本なども並びました。

会場では、気になる本をじっくり読み比べる生徒や、クイズや雑学の本を囲んで友

達同士で盛り上がる生徒の姿が見られ、終始笑顔のあふれる温かな雰囲気にも包まれていました。

毎朝の朝読書に加え、今回の選書会は、生徒たちが新しい本や新しい世界と出会う貴重な機会となりました。この出会いをきっかけに、これからも読書を通して興味や関心を広げてくれることを期待しています。

終業式・離任式

7月18日、1学期終業式とALTマリー先生（下写真右）の離任式を行いました。

終業式では、学校長から「人口減少や国際化の進展など、これからの社会は変化が激しく、将来を予測することが難しい時代になる。そのような時代だからこそ、誠実さや粘り強さを大切に、自ら学び続けることで未来は大きく広がっていく」と、生徒たちへエールが送られました。

終業式後には、5年間本校で勤務されたALTマリー先生の離任式を行いました。マリー



先生はスライドを交えながら、桤原町での思い出や生徒・教職員への感謝の気持ちを語られ、会場は温かな雰囲気にも包まれました。生徒たちは、これまで以上に真剣な表情で話に耳を傾け、一つ一つの言葉を大切に受け止めていました。



マリー先生は、カナダへ帰国されます。桤原で過ごした5年間の思い出を胸に、これからもマリー先生らしく笑顔で歩んでいてほしいと思います。マリー先生、本当にありがとうございます。

マリー先生は、カナダへ帰国されます。桤原で過ごした5年間の思い出を胸に、これからもマリー先生らしく笑顔で歩んでいてほしいと思います。マリー先生、本当にありがとうございます。

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900



すべての人を「本」の世界へ。読書の楽しみをいつまでも。

読書バリアフリーサービス

「見えづらい」「読みにくい」「ページをめくるのが難しい」と感じたら、雲の上の図書館であなたに合った「読み方」を一緒に探して見ませんか？読書を楽しむためのサービスがいろいろあります。

●録音図書(声の本)

活字図書を音声で読み上げ、録音した図書です。ベストセラーやミステリー、時代小説、ノンフィクションなど様々なジャンルの本があります。



再生機を貸し出します

持ち歩ける
サイズも
ご用意!



●マルチメディアデージー図書

パソコンやタブレットを使って音声を聞きながら、本の画像や文字を見ることができます。文字を読むことが苦手な方も、わかりやすく読めます。



タブレットを貸し出します

初めて利用する際には、バリアフリーサービスの登録が必要です。ご住所が確認できるものをご提示ください。代理の方でも登録可能です。また、来館することが困難な方には、郵送サービス「本のおとどけ便」も行っています。詳しくは図書館までお尋ねください。

何が本当で、何が嘘なのか。

『陰謀論百物語』 著者：荻原 浩

蝋燭を前に、ずらりと座った高名な“陰陽師”たちが百物語を繰り広げます。嘘のような陰謀論は世界を混乱させて支配しようとする影の組織が故意に広めているものらしい。何が真実なのか、ぜひご覧ください。



自称“ふわふわ人間”穂村弘のエッセイ集

『蚊がいる』 著者：穂村 弘

- ・「蚊がいる」のに「いない」ことにされてしまう現実、日常の中で感じる他者との
- ・感覚のズレ、居心地の悪さと不安…。穂村弘の、もっともセンシティブな部分を収録した一冊。



ご紹介した本が貸出中の場合は、予約ができます。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

9月の休館日 (22日は開館)

1日, 8日, 15日, 24日, 29日

図書館マメ知識

1階およびコミュニケーションラウンジでは、飲食可能です。2階は蓋つきの飲み物は持ち込み可能です。ゴミは必ず持ち帰るようにしてください。

観光協会だより



高校生が梶原の歴史や文化を学びました

総合的な探究活動の一環として、梶原高校の生徒6名が訪ねて来てくれました。

今回訪れたグループの探究テーマは、梶原町の歴史や文化について。聞き取った内容を情報発信することを目的として色々な方にお話を聞き取りしているそうです。

観光協会に相談いただいて、梶原史談会会長であり、梶原町歩きガイドとしても活躍されている伊藤一博さんにご協力いただきました。

生徒たちからは、「梶原にはどのような文化があるのか」「津野山神楽が長年受け継がれている理由」「町民にとっての茶堂の役割」「地元木材を使った建物の魅力」など、さまざまな質問が寄せられ、伊藤さんが一つひとつ丁寧に答えられていました。

今回の学びが、生徒たちの探究活動や今後の情報発信につながることを期待しています。



ゆすはら雲の上観光協会 メールマガジン登録はこちら



6月の利用者数

宿泊者数

585人
(前年比79.2%)

ガイドツアー

人数/組数
133人/10組

ゆすはら雲の上観光協会



第3回目のテーマは 「太郎川公園」

について

太郎川公園の場所には、かつて牛たちの冬の住まいがあったことをご存知ですか？

津野山畜産公社では、夏は四国カルストで放牧した牛を、昭和52年から冬の間は太郎川の牛舎で飼育していたそうです。しかし昭和58年、牛舎は火災により全焼。ちょうどその頃、公園整備計画が持ち上がり、公社は横貝へ移転しました。その後、この地は都市との交流を目的とした太郎川公園として整備され、昭和60年に開園しました。

茶堂や茅葺き屋根、水車小屋などが配置され、梶原の自然や山村文化を体験できる交流拠点として親しまれてきました。今では観光やレジャーの場として多くの人が訪れる太郎川公園ですが、こんな歴史があったようです。

◆ 違反広告物の一斉除却に関するお知らせ ◆

9月1日から10日までは「屋外広告物適正化旬間」です。この間、屋外広告物のルールを知っていただくための普及・啓発活動を行うとともに、9月10日には、電柱や信号機、道路標識、ガードレールなどに貼られた「はり紙」「はり札」や「立て看板」など条例に違反している屋外広告物の県内一斉除却・指導の作業を行います。

美しいまち並みのためには、みなさまのご理解とご協力が必要です。よろしくお願いします。

【屋外広告の広告主及び広告業者のみなさまへ】

広告を出されるときは、最寄りの土木事務所（注意：高知市内は高知市役所）までお問い合わせください。また、県内で屋外広告業を営む方は、登録が必要です。



須崎土木事務所 維持管理課 ☎0889-42-1859

県庁都市計画課 HP(屋外) <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/171701/okugai.html>

9月の行事予定

1日(火) 栲原高校2学期始業式
シェイクアウト訓練
5日(土) 栲原高校体育祭
8日(火) 行政相談(9:00~12:00)

12日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デイ
20日(日) 栲原町交通安全の日
21日(月) 秋の交通安全運動(30日まで)
26日(土) 第37回土佐牛まるかじり大会

※行事予定は変更となる可能性があります、ご了承ください。

9月の保健福祉課行事予定

1日(火) 第69回金婚夫婦祝福式典
小児健診
2日(水) 松原サテライトデイサービス
3日(木) 四万川宅老所
4日(金) 初瀬区いきいきふれあい広場
7日(月) げらげら家族会
9日(水) 東区宅老「えくぼ」
10日(木) 越知面デイサービス友の会

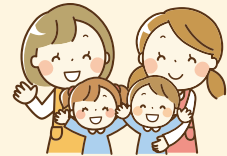
11日(金) 西区いきいきふれあい広場(合同)
14日(月) 認知症カフェ
17日(木) 四万川宅老所
エプロン会再研修
18日(金) 東区いきいきふれあい広場
24日(木) 四万川いきいきふれあい広場
30日(水) 晴れ晴れクッキング

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日)……28日(月)、29日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170までお願いします。



※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。

【ふるさとづくり寄付金】

村崎 雅彦様

他匿名希望の方 23名

【その他のご寄付(香典返し)】

松山 一廣様(仲久保)

故松山富美子氏死去に伴う(社会福祉へ)

吉村 大輝様(広野)

故吉村清明氏死去に伴う(社会福祉へ)

高橋 信尊様(下折渡)

故高橋登志子氏死去に伴う(医療の発展へ)

山本 晃昌様(栲原)

故山本正澄氏死去に伴う(町勢発展へ)

織田 大輔様(兵庫県)

故織田青志氏死去に伴う(社会福祉へ)

上河 茂子様(松原)

故上河幸徳氏死去に伴う(社会福祉へ)

● おくやみ

住 所	死亡者名	年齢	死亡年月日
松 原	上河 幸徳	97	令和8年7月20日
島 中	井上 利子	86	令和8年7月22日
広 野	中岡 廣年	74	令和8年7月22日
飯 母	兵頭 裕美	31	令和8年7月25日

● おめでた

住 所	出生者氏名	出生年月日	保 護 者
竹の藪	にしむら かなと 西村 奏人	令和8年7月25日	西村 勇人

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

文芸

柚子の木俳句会

きゅうり採れサラダ記念日続きおり 西村由利子

畦に立つスカートの裾青田風 西森誠子

白日傘娘も今日は大人びて 中平忠雄

松明墜ちて虫送いま終いけり 渡辺瑞枝

墓^{ひき}殿に一つ学ばん面構え 中越昌一

生活道カーブ見守る合歓の花 広瀬卓雄

「畦に立つスカートの裾青田風」
スカートを履いているので、作業ではないでしょう。田植をしてからしばらく経ち、青々と育っている青田の畦に立ち、苗と作者を撫でる風を心地よく感じています。

杉の子俳句会

風鈴の音色流れる過疎の駅 氏原陽子

夏山を登りて風に聴いてみる 掛橋初子

人の逝く目高のいのち透けてをり 久岡智子

子かまきりの鎌色づいて身構える 明神伊佐子

草刈機止めて聞き入る蝉の声 西村幸枝

素足なら海の彼方の楽園へ 内野純子

背負うもの誰にもひとつ遠花火 川田早苗

夕暮れて誰かを探す立葵 石丸寛治

子供等の笑顔はじける夏祭り 西村蓉子

猛暑日や角の地蔵さん汗をかく 大崎みなと

自慢気な身振り手振りの鮎釣り師 影浦鉄心

溝^{みぞ}浚へ昭和生まれの者ばかり 下元廣幸

「風鈴の音色流れる過疎の駅」
地球上が沸騰しているかのようなこの夏の暑さ、ふと足を止め風鈴の音色に耳を澄ませています。一瞬涼やかな風を感じました。飾らない言葉だからこそ心に沁みるものがあるのでしょうか。

広報委員のつぶやき

梅雨明けから即、真夏の暑さに突入しました。私を含め、体調を崩している人も多いことと思います。我が家は築120年余り、通気性は良いのですが、エアコンを設置できるほどの密閉できる部屋がありません。栲原に越してきて10年、これまでで一番厳しい夏になりそうです。

暑さを増しているのは、異常気象だけでなく、我が家を囲む水田が減ったせいもあるような気がしてなりません。家族が高齢になったこと、例年水不足で苦労していることから、今年は棚田を諦めて、広い田んぼだけを耕作しているからです。

自分たちで決めたこととはいえ、水の入っていない田んぼを見るのは、さみしいものです。水をたたえた田んぼの美しさ、ありがたさを改めて感じます。しかしながら、それを維持する人手の不足も、どうにもならない現実です。

車を運転しながら目に入る水田、また耕作放棄地の一つひとつに、そういう思いが隠れているのではないのでしょうか。我が家の田んぼも、できるだけ維持したいと思っていますが、いつかは限界が来ます。令和の米騒動もありました。5キロ4千円を超えて大騒ぎでしたが、結局値段はまた下がり、消費者の米離れは元に戻らないままです。

少ない人手で米を育てられるように、種もみを水を入れない田んぼに直まきしたり、代かき後に直接種もみをまいたりする新しい稲の育て方も研究が進んでいるようです。自家用米だけを育てている我が家でも利用でき、少ない労力で米が育てられる技術が早く確立してくれるのを願うばかりです。

梶原学園5年生 体験合宿

7月22日から24日まで、梶原学園5年生が体験合宿を行いました。

この合宿は野外活動や共同生活において自主的に行動し、みんなで協力しあって楽しい合宿にすることを目標に取り組みました。

【活動内容】

7月22日 梶原町内

- ・ 森林学習
- ・ カードゲームmoritomorirai
- ・ どんぐり苗木園
- ・ 町内散策（身近な樹木調査）
- ・ 丸太コースター作り

7月23日 幡多青少年の家

- ・ ボディボード
- ・ 野外炊飯
- （カレー作り・ハイゼックス炊飯）
- ・ キャンプファイヤー

7月24日 幡多青少年の家

- ・ シーカヤック
- ・ スキンダイビング
- ・ ふりかえり



丸太コースター作り



梶の木って不思議だね



森林の未来について考えたよ



みんなで協力した野外炊飯



ボディボード
楽しい！

今回の体験合宿では、1日目に梶原町内でカードゲームを通じて森林を守ることや活用することの大切さを学んだり、のこぎりを使って丸太からコースターを作ったりと、森林に触れる体験学習を実施しました。また、黒潮町の幡多青少年の家では、ボディボードで波の力強さを体感したり、ダイビングで魚や珊瑚などを見たりと海での活動に元気いっぱい挑戦。そして、シーカヤックや野外炊飯では、友達と声をかけ合いながら協力する場面が多く見られ、仲間との絆を深める体験となりました。

親元を離れ、友達との共同生活を通して時間やルールを守ることの大切さを学び、この経験と成長は、子ども達の大きな自信につながりました。

生涯学習課

梶原町公式ホームページ
<https://www.town.yusu-hara.lg.jp/>



わが町の
 人びとの
 動き

世帯数 1,659 (7月末) / 1,654 (6月末)

人口 2,959 (7月末) / 2,962 (6月末)

出生	死亡	転入等	転出等
1	6	10	8